

令和2年1月27日

三次市議会

議長 小田 伸次 様

三次市議会 会派ともえ

新家 良和

会派代表者

経理責任者

4 会派行政視察報告書

- ◆視察日程：R2年1月22日（水）～24日（金）
- ◆視察先：衆議国会館、参議院会館
- ◆視察内容：全世代型の社会保障改革、GIGAスクール構想の実現、近年の水害と今後の水害対策について、特別交付税要望活動
- ◆会派：真正会 8名 ともえ 5名 公明党 2名 若次会 1名 計 16名

1. 全世代型の社会保障改革について

(内閣府参事官補佐・土岐 祥蔵氏)

・1月22日（水）14:00～15:30

安倍総理が議長を務める「全世代型社会保障検討会議」が、昨年12月に取りまとめた中間報告を中心に説明を受けた。少子高齢化が進行しライフスタイルが多様化する中で、人生100年時代の到来を見据え全世代（高齢者、子供、子育て世代、現役世代）に亘る、年金、労働、医療、介護など、社会保障全般の持続可能な改革を検討した内容である。

国の財源が不足する中で社会保障全般に亘る改革が必要とし、多くの国民が「支えられる側」ではなく「支える側」として活躍することで、現役世代の負担上昇を抑え全世代が安心できる社会保障制度を構築するとしている。改革の主旨については聞こえがいいが、年金は受給開始時期を遅らせ、労働は70歳まで就業機会を延長し、医療については自己負担を増やす内容となっている。

全ての内容について否定的ではないが、全世代に亘って良くなる内容なのか理解できなかった。今年夏に最終報告を取りまとめると伺ったが、日本の将来の社会保障のあり方に具体的な処方箋が示されるとは思えなかった。

2. G I G Aスクール構想の実現について

(文部科学省情報教育・外国語教育課課長補佐・齋藤 幸義氏)

・1月23日(木) 10:00~11:30

R元年12月5日、文科省のG I G A (Global and Innovation Gateway for A II) スクール構想の実現が閣議決定された。学校における高速大容量のネットワーク環境(校内LAN)の整備を推進し、義務教育段階においてR5年度までに全学年の児童生徒一人一人が、それぞれ端末を持ち十分に活用できる環境の実現を目指すこととしている。そのため事業を実施する地方公共団体に対し、国として継続的に財源を確保し必要な支援を講ずるとしている。

今国会で審議されるR元年度補正予算案に、①校内ネットワークの整備:1,296億円、②児童生徒1人1台端末の整備:1,022億円が組込まれている。校内LAN整備の補助割合は1/2、児童生徒が使用するPC端末の補助割合は4.5万円/台が設定されている。新学習指導要領にも、小・中・高等学校の情報教育・ICT活用教育の必要性を強く訴えている。

三次市は福岡市長が、ICTの活用で児童生徒の学力向上、プレゼン能力や英語教育の向上のため、1人1台のタブレット端末導入を推進されている。この度研修したG I G Aスクール構想は、正に時宜を得た政策である。三次市も本制度を活用し、施策を加速させていきたい。

3. 近年の水害と今後の水害対策について

(国土交通省河川環境課企画専門官・榊井 正将氏)

・1月23日(木) 13:30~15:00

近年における自然災害の発生状況や、令和元年10月の台風第19号の被害や復旧状況を冒頭説明頂いた。毎年多くの災害が発生していることが、時系列的にもよく理解できた。今日の異常気象を考えると、いつ災害に見舞われてもおかしくない。正に災害大国日本である。三次市の状況についても触れられ、江の川流域の災害でH30年7月豪雨とS47年7月豪雨について説明頂いた。「畠敷・願万地地区の内水対策」は、我々の知見の範囲であり特別新しい情報はなかった。

近年の激甚災害頻発の状況を踏まえ、災害から国民の命と暮らしを守るため抜本的かつ総合的な防災・減災対策を講じる必要がある。これらを踏まえて国土省の総力を挙げ、「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト ~いのちと暮らしをまもる防災減災~」を立ち上げた。国交大臣を本部長とする「国土交通省防災・減災対策本部」を設置し、プ

プロジェクトを強力かつ総合的に推進するとしている。1月21日に第1回の会合を行いプロジェクトをスタートさせた。年度内に中間報告、今夏までに取りまとめ予定と伺った。まだ緒に就いたばかりで、具体的な内容についてはあまり説明もなかった。江の川流域上流部のこれからの水害対策について、国交省の考えを説明して欲しかったと強く感じた。

4. R元年度特別交付税要望活動（参議院会館・衆議員会館）

・1月24日（金）10：00～11：00

R元年度特別交付税の増額要望を、地元選出の衆・参議員に行った。今年度は、39億円を要望した（H30年度特別交付税交付額は、約28.8億円）。要望活動を行った議員は次の通り。

- ・参議院：宮沢洋一議員（自民）・森本真治議員（国民民主）・柳田稔議員（国民民主）
- ・衆議院：小島敏文議員（自民）・岸田文雄議員（自民）・佐藤公治議員（無所属）・斎藤鉄夫議員（公明）・畦元将吾議員（自民）・小林史明（自民）

以上

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名

小田伸次

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	経理責任者
視察議員	会派ともえ・真正会・公明党・藤岡議員の16名	
期 間	令和 2年 1月 23日 (木) ~ 令和 2年 1月 23日 (木)	
視 察 先	第一衆議院議員会館 12階 会議室 国土交通省	
視 察 用 務	近年の水害と今後の水害対策について	
視察先対応者	国土交通省 河川環境課 企画専門官 梶井正将	
概要及び所見	<p>最近の気象条件は、短時間で多くの雨が降ったり突風が吹いたり、予想を大きく上回る状態が多発してきている。令和元年の台風19号では、全国で140箇所を超える河川の決壊が見られ、死者99名というこれまでに無い被害発生となった。これからは、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の活動が重要となってくる。被災自治体に代わり被害規模の迅速な把握に貢献するとともに、高度な災害対策機械を全国から集結させて迅速な災害復旧活動を実施するものが、今後の重要な役割を持つものと考えられる。</p> <p>私たちは、日頃より災害を想定した避難のシュミレーションを行い自分達の生命財産をどのように守るのか、事前防災対策にしっかりと取り組むことが被害を最小限に抑える事に繋がり、個人レベルでは出来ないことは地域防災組織や行政と共同し取り組んでいかなければならないと感じた。</p> <p>近年の社会資本整備の状況や人口の移動等で、街の環境も変わってきているので上記の「事前防災対策」への個人的取り組みや、地域的取り組みが最重要と市民に広報して行くことが大事であると感じた。</p>	

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 藤井 憲一郎

下記の通り、三会派による合同視察が終了したので報告します。

記

- 視察議員 (会派ともえ) 新家良和 小田伸次 弓掛元 藤井憲一郎 片岡幸治
(真正会) 亀井源吉 助木達夫 杉原利明 澤井 信秀 齊木亨 鈴木深由希 桑田典章
横光春市
(公明党) 岡田 美津子 黒木靖治
(若次会) 藤岡一弘
- 期間 令和2年1月22日(水)～令和2年1月24日(金)
- 視察先 衆議院第一会館、参議院会館、国会議事堂
- 視察用務 衆議院第一会館にて研修
①「全世代型社会保障改革について」
②「GIGAスクール構想について」
③「近年の水害と今後の水災害対策について」
④地元選出国會議員への特別交付税増額要望
- 視察先対応者 ①内閣府制作統括官(経済社会システム担当)付参事官付
土岐祥蔵参事官補佐
②文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課
齋藤幸義課長補佐
③国土交通省水管理・国土保全局河川環境課
榊井正将企画専門官
④衆議院 小島敏文議員 佐藤公治議員 岸田文雄議員 斎藤鉄夫議員 小林史明議員
畔元将吾議員
参議院 宮沢洋一議員 森本真治議員 柳田稔議員

概要及び所見

①「全世代型社会保障検討会議」にて、少子高齢化とライフスタイルが多様化する中で全世代が支え合う為、年金・労働・医療・介護等の社会保障全般に渡る持続可能な改革を検討されている。私も含め、多くの国民が年金制度に疑念が残っている状態にある中で苦肉の策であるように感じながらのレクチャーであった。平均寿命の伸びる中、意欲ある高齢者の雇用や就業を確保する事

によって年金受給を遅らせる施策についても、現状「もらい損」への懸念から進んでいないと聞く。間もなく団塊世代が75歳以上となるが、税の使い道や医療・介護の面で、本市独自で出来る事は何かを考えなくてはならない。

②経済も福祉も教育も、公共交通のような市民サービスに於いても今後は人工知能等の技術革新の恩恵を誰もが受ける時代が来ると考える。子供達が社会の予測できない変化に遅れないように、使われる側ではなく上手に使う側になる教育が必要である。本市に於いては市長もICT環境の整備に前向きである事はアドバンテージと捉える。情報化を推進する中で、教職員の働き方改革に有用であるのか、システム異常やトラブル対応、活字離れやゲームへの課金、SNSから犯罪に巻き込まれる等の負の側面や、家庭への費用負担が無いのか等、我々も更に研鑽を積んで行かなければならない。

③「近年の水害と今後の水災害対策について」という標題でのレクチャーであったが、近年発生した災害事例の羅列と事例ごとに行った対応を述べるに留まった、少し残念な印象があった。

「1000年に一度に照準を合わせたダムや放水路計画」とか「河川の国管理・県管理を超えた対策」という方針を一市民としては期待するが、本市に於いては内水排除のハード事業への支援要望と自助・公助意識、避難訓練、自主防災等のソフト事業の積み重ねが必要であると再認識した。

研修等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名

弓掛 元 印

下記のとおり、研修が終了したので報告します。

	会派代表者	新家良和	経理責任者	藤井 憲
視 察 議 員	弓掛 元			
期 間	令和2年1月22日 ～1月24日			
研修先	衆議院 参議院議員両会館			
研修要務	特別交付税陳情、GIGAスクール構想ほか研修			
研修講師	内閣府 土岐参事官補佐 文科省 齋藤課長補佐 国交省 榊井専門官			
概要及び所見	<p>初日は内閣府より全世代型保障改革について講義を受けた。社会保障問題は高齢者だけの問題ではなく若者、中高年も含め全世代でのスキームの再構築の必要性を強く感じた。平均寿命の伸びにより年金支給の年齢引上げも含め医療介護の見直しの必要性を痛感した。</p> <p>二日目午前は文科省よりGIGAスクール構想の実現についてその全容を学んだ。福岡市長も教育のICT化について積極的であり、我々議員も採決の判断をすべくしっかり内容を把握する必要があるとタイムリーな講義であった。その弊害もあるがうまく使えば非常に有益であると判断した。午後は国交省により今後の水災害対策について学んだ。毎年全国各地で水害が発生、一昨年三次市でも被災しており次の大雨に対しての準備が不可欠で具体的な施策を問うた。ダムによる水量調整はかなり有効であり上流ダムも利水より治水を優先するよう意見した。又川の浚渫、内水ポンプの拡充も要請した。</p> <p>三日目は衆議院議員 小島 敏文 佐藤 公治 岸田 文雄 齋藤 鉄夫 畔元 将吾各事務所 参議院議員 宮沢 洋一 森本 真治 柳田 稔各事務所へ特別交付税の陳情を行なった。</p>			

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 片岡幸治

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	経理責任者
視察議員	片岡幸治	
期間	令和2年1月22日（水）～令和2年1月24日（金）	
視察先	衆議院第1議員会館，国会議事堂，参議院会館	
視察用務	議員研修：「全世代型の社会保障改革」内閣府(1/22) 「GIGAスクール構想」文部科学省(1/23) 「大災害時の河川対策」国土交通省(1/23) 特別交付税陳情：地元選出国會議員	
視察先対応者	内閣府：土岐祥蔵(政策統括官付参事官)ほか 文部科学省：齋藤幸義(初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 課長補佐) 国土交通省：梶井正将(水管理・国土保全局 河川環境課 企画専門官)	
概要及び所見	<p>1/22(水) 議員研修 内閣府：「全世代型の社会保障改革について」 現在、総理を議長とした政府における検討会議の12月の中間報告の概要と今夏の最終報告に向けた内容について教示頂いた。 年金については、(1)受給開始時期の選択肢の拡大、(2)厚生年金(被用者保険)の適用範囲拡大、(3)在職老齢年金制度の見直し、の中間報告 医療については、(1)医療提供体制の改革、(2)後期高齢者の自己負担割合の在り方、(3)大病院への患者集中を防ぎかかりつけ医機能の強化を図るための定額負担拡大、の中間報告など</p> <p>1/23(木) 議員研修 文部科学省：「学校情報化のこれまでの動きについて GIGAスクール構想」 学校におけるICT活用の現状とGIGAスクール構想について教示頂いた。 学校におけるICT活用の現状については、(1)情報活用能力の育成、(2)ICTを活用した学習活動、(3)ICT環境整備の実態、(4)国の動きについてなど GIGAスクール構想については、(1)ハード整備(令和元年度補正予算)、(2)GIGAスクール構想の実現パッケージなど</p> <p>国土交通省：「近年の水害と今後の水災害対策について」 全国で発生する自然災害と復旧状況と江の川(上流)について教示頂いた。 全国で発生する事前災害については、(1)近年における自然災害の発生状況、(2)台風19号による被害および復旧状況など 令和2年度予算については、(1)治水事業等関係費の概要、(2)新規制度・事業など 江の川(上流)については、(1)流域の概要、(2)30年7月豪雨の概況、(3)河川改修事業など</p> <p>1/24(金) 特別交付税陳情 参議院会館 宮沢洋一議員(自民)、森本真治議員(国民民主)、柳田稔議員(国民民主) 衆議院第1会館 小島敏文議員(自民)、佐藤公治議員(無所属・国民新党)、斉藤鉄夫議員(公明)、岸田文雄議員(自民)、畦元将吾議員(自民)</p>	